

【第2報・最終】E23 伊勢自動車道 路面清掃車からの飛び石事象

【発生日時】 2026年5月20日（水） 11:51頃

【発生場所】 E23 伊勢自動車道 上り線 133.9KP多気PA付近（玉城IC～勢和多気JCT）

【工事件名】 2026年度 伊勢自動車道 津管内維持修繕業務

【受注者名】 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱

【概要】

お客さまより、作業中の路面清掃車（スウィーパー）の横を通過した際に、フロントガラスに傷がついたと申し出があったもの。

【被害状況】 人的被害：なし
物的被害：お客様車両のフロントガラスに傷約2ミリ程度

【時系列】

5/20（水）

11:51頃 事象発生
12:03頃 お客さまセンターへ入電
12:40頃 お客さまセンターから保全計画課長へ情報共有
12:50頃 メンテへ事実確認
12:55頃 事実確認の結果、当該時間に作業実施を確認
13:00頃 保全計画課長からお客さまへ折り返し連絡（不通）
13:40頃 保全計画課長からお客さまへ折り返し連絡。被害状況の確認
18:30頃 久居ICにてお客さまの事故車両の状況確認（メンテ同席）

5/21（木）

AM メンテ安全大会「事故発生を共有、今後の対策/作業手順書の再徹底など」
11:00頃 メンテからお客様に連絡
「お客様のドライブレコーダーデータより、（飛び石と思われるもの）がフロントガラスにあたる音及び他に周辺に走行車両がなかったことを確認しました。お車の修理など今後については、保険会社の判断となり、当方の保険会社から連絡する」旨で、お客様了解

【報道等】 なし

【原因】

- ①路面清掃車について
- ・前日の車両清掃後の終了後点検
「飛散防止カバーの状態、また車体に石・砂利が残っていないなど、異常なし」を確認
 - ・当日の始業前車両点検時にも上記と同様の「異常なし」を確認し、作業を開始
- ②作業実施状況について
- ・作業計画書に記載の目安の速度で後尾警戒車を配置して作業していたことを清掃車両のドライブレコーダーにて確認

上記から、路面清掃車や作業状況に問題はなかったと考えられ原因の特定には至らない。
また、飛び石が清掃車の車体・タイヤからの落下したものか清掃作業によるものかも不明である。

【今後の対策】 終了後点検、始業前点検、また休憩時に、車体に石・砂利が残っていないことの確認を継続実施していく。また清掃車両のドライブレコーダーから、後尾警戒車両との車間がやや離れていたような状況も見受けられたため、作業手順書の後尾警戒車両の車間（最小値の目安を）「50m～100m⇒20m～100m」と修正し、（並走される）お客様への走行安全性を向上させる。

【位置図】



【物損状況】



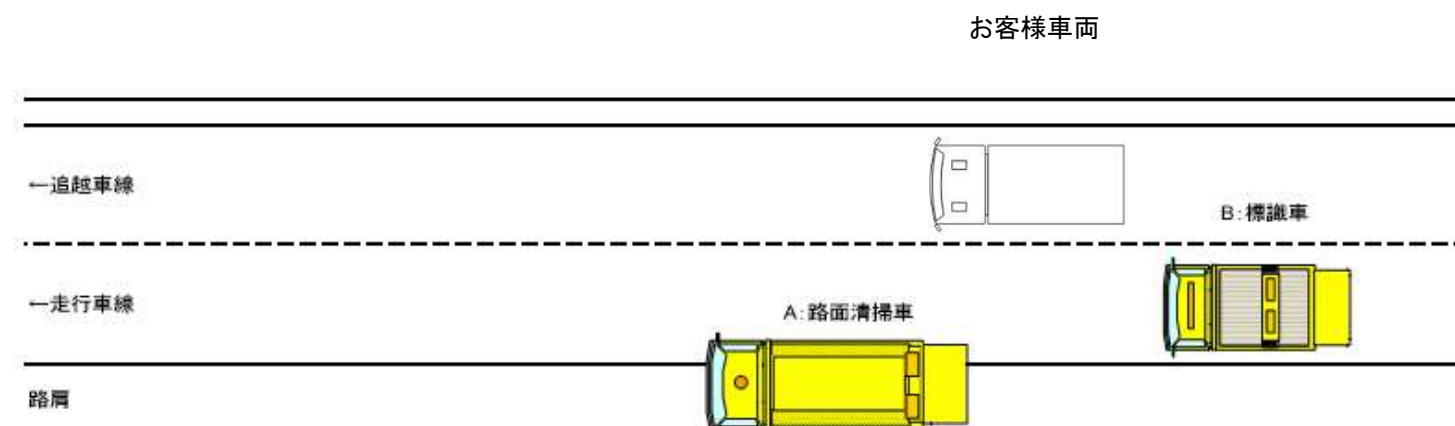
【緊急安全大会】



【作業車状況】



【作業状況図】



【作業手順書】

改定後

・「後尾警戒車両の車間 50m～100m⇒20m～100m」に修正

本線路肩の清掃（高速スイーパー使用）

内 容	留 意 事 項
作業打ち合わせ（KY活動） 作業人員の確認 交通規制の確認 使用車両等の点検 給水 ブラシ設置中の調整	安全ミーティング日報による。 作業分担・配置の確認。（大型免許取得者による運転） 後尾警戒車（自走式標識車）との連携確認。出発タイミングの確認も行う。 規制簿にて規制箇所の確認（路線確認）、作業車線、区間の確認、その他回送区間を把握する。 点検表による。 車両の始業前点検の実施（車体損傷有無や飛散防止カバーの固定状況や車体に小石等が残っていないか確認する） ※ホッパー上げ確認 ※水槽バルブ確認（水用）
連絡手段の確認 情報板の表示確認 LED表示切替 作業速度 作業車間距離 渋滞の回避	後尾警戒車の助手が管制連絡用携帯電話を所持する ・久居IC出発時（作業開始時）、IC通過時、終了時に管制へ連絡し、情報板点灯区間内で作業をする。 （低速車作業中の情報表示、50km/h規制の切替（一車線区間）） ・走行の場合作業中右矢印（二車線区間）、作業中追越禁止（一車線区間）。 ※回送中は「道路をきれいに」を表示し回転灯を点灯する。（回送時の注意喚起） ・路肩を約30km/h以内にて走行し、作業を行う。 ・高速スイーパーと後尾警戒車量は、概ね20～100mの車間（一般車の進入を防げる距離）を維持して連携をとる。 ※ランプ走行時、見通しの悪い場所では100m以上の車間距離をとり注意喚起する場合もある。 ・一車線区間にあっては、非常駐車帯等にて後続車に道を譲り、渋滞の発生を防止する。 ※ただし、トンネル内や橋梁の非常駐車帯では行わない。 ・休憩時に点検実施（車体損傷有無や飛散防止カバーの固定状況や車体に小石等が残っていないか確認する）
土砂、ゴミを指定された仮置き場に仮置きする 土砂、ゴミ処理のために仮置き場まで回送 土砂、ゴミを仮置き場にて排出する	・ホッパーがいっぱいでなくとも早めの仮置きを実施する。（いっぱいになると飛散の恐れがある為） ・一般道を回送するので速度に十分注意する。 ・ホッパーを動かす時に後ろを良く確認して助手の合図により行う。
車両清掃、洗車 タンク水抜き ブラシ確認 終礼の実施	ホッパー内洗車注意（安全ストッパーの确实実施）。車両の終了後点検（車体損傷有無や飛散防止カバーの固定状況や車体に小石等が残っていないか確認する） 特に冬期間水抜きの実施（凍結のおそれ有り）。 異物（ゴム等）が絡まっていないか確認、ブラシがすり減っていないか確認（ブラシ長さ確認）。 安全ミーティング日報による。